

# 秀麗富嶽十二景を歩く 第五回 大蔵高丸1781m ハマイバ丸1752m(会山行)

(報告) F澤ゆ

◎ 日程：2018年 5月13日(日)

◎ メンバー：F澤ゆ(L) S藤み、S藤さ、I上、S井、

今回は三番の「大蔵高丸」1781mと同じ三番の「ハマイバ丸」(破魔射場丸) 1752mです。この日は薄曇り。午後から雨。

JR大月駅で5名が顔合わせ。予約したタクシー2台に乗り登山口の湯ノ沢峠入り口着。ここでは、山の樹木が切り出されていました。山の斜面のほとんどの樹木が伐採されています。この車道は4月25日にゲートが開けられたとのこと。この登山道はあまり使われていないようです。沢沿いの静かな道です。鳥影が濃く、四十雀やホトトギスの鳴き声が良く聞こえてきます。途中で大宮高校山岳部の20人ほどのパーティーが教員に引率されて下りてきました。新緑が美しく何度も立ち止まっては峰を眺めました。春の山は様々な緑で覆われています。芽吹きが赤色が輝いています。ピンクのミツバツツジが所々彩りを添えています。

10時50分に湯ノ沢峠に到着します。ここから2分ぐらい歩くと立派な避難小屋があります。この近くには10台くらい駐車スペースもありバイオの豪華なトイレもあります。ここから南側の大蔵高丸へ続くならかな道はしっかりとしています。入山者カウンターを押すと1000人目でした。途中のお花畑は広く、ロープが張ってあります。S藤(み)さんの話では、ここのお花畑は8月から9月が素晴らしいそうです。マツムシ草などが咲き乱れるそうです。11時30分到大蔵高丸山頂。晴れていればここから眺める富士山は見事です。本日は全く展望なし。雨が降りそうなので、早めの昼食です。

12時30分にハマイバ丸着。「マル」というのは古代朝鮮語で山を意味するそうです。大菩薩嶺の南から丹沢・奥多摩にかけて「マル」が集中しています。かつて渡来人が多く住んでいたのでしょうか。木暮理太郎は「持統天皇紀や続日本紀に百濟人を甲斐に移すという記述がある」ことを指摘しています。



大蔵高丸山頂



沢沿いにある岩をつかむ木。大蔵高丸山頂にて。

600年～700年頃に多くの百済人が桂川流域に集団で移り住んだようです。山梨県では北巨摩・中巨摩・南巨摩という地名も使われていました。

この辺りで雨に捕まりました。雨具をつけて早め下山します。13時30分にタクシーに着てもらうことにし、湯ノ沢峠の駐車場で待ちます。雨はだんだん激しくなります。到着した「やまと天目温泉」は素晴らしい風呂でした。日本最強のアルカリの湯だとのこと。入ると肌がヌルヌルします。温めの湯は心地よく、露天風呂から眺める新緑が目に染みしました。バスの出発時刻が16時10分なので、ゆったりと2時間も温泉を楽しみました。雨に降られましたが、新緑の美しさがいっそう輝いていました。参加された皆さん。お疲れ様でした。

#### 《コースタイム》

5月13日(日)

9:00 JR 大月駅 発—(タクシー) 9:30 登山口—10:50 湯ノ沢峠着  
—11:00 大蔵高丸 1781m山頂着・昼食—12:30 ハマイバ丸 1752m着  
—13:15 湯ノ沢峠避難小屋着—(タクシー)—14:20 やまと天目温泉着  
—(バス) 16:30 JR 甲斐大和駅着